

数年前、先進五か国の学者が協力して知能テストを作って、五か国の子供たちの知能を測定したことがありました。このテストで、アメリカ・イギリス・フランス・西ドイツの四か国の子供たちの平均知能指数はそろって100でしたが、日本の子供たちの指数だけが111でした。この事が世界に発表されましたので、「日本の子供たちはなぜ知能が高いのか」ということが問題になりました。いろいろな意見がありましたが、最も有力なのは「漢字がその原因ではないか」というものでした。

漢字は、象形・指事・会意・形声という他に類の無い論理的な体系をもった文字ですから、これを使っていると、自然に未知の漢字をも推理する習慣が付き推理力や洞察力が発達するのだと思います。例えば、“猿”は獣の仲間であり、“鶏”は鳥の仲間であることが、その偏や旁から推理できます。これは漢字だけがもつ特性です。こういう文字を使っていれば、自然と知能が高くなるだろうというわけです。

これからの世の中では、頭に知識をたくさん蓄えることよりも、知識を活用し応用発展させる知能を高めることの方がずっと重要になると思います。私たちは折角漢字を使って生活しているのですから、これを論理的・体系的に学習することにより、推理力や洞察力を伸ばして知能を一層高めるべきだと思います。この辞典は、そういう目的で、漢字を論理的・体系的に見る目を養い、今までの丸暗記式の無味乾燥な反復練習をやめて、興味溢れる楽しい漢字学習が出来る

ように編修いたしました。

どんな学問をするにしても、書物を読んでそれを理解することが基本です。そのためには漢字力を強くすることが何よりも大切です。漢字力が強ければ、普通の人が二時間かかる学習でも、一時間で済ますことが出来ます。だから、一日でも早く強い漢字力を身につけることが必要だと思います。今までのがむしゃらな丸暗記は、覚えにくく忘れやすいのでいけません。覚えやすく忘れにくい論理的・体系的な学習でなければいけません。

このような考えから、漢字を論理的に解字する辞典が多く編修されるようになりました。しかし、解字には昔からいろいろな説があって、どれを採ったらよいか迷うものが少なからずあります。まして、何人もの先生が分担して解字している辞典は、解字に一貫性がなく、かつ矛盾しているものが少なくありません。それで本書は、私が独りで通して解字いたしました。また、従来の説では満足できないものは独創を加えました。総じて、初学者にも漢字が容易に学習でき、理解を深められますよう、平易な解字に努めましたので、広く学校の先生方から小学生に至るまで、あらゆる段階の人々に楽しんで利用して頂けるものと確信いたします。どうぞ座右に置いて生かされていきますようお願いいたします。

1987年7月

石井 勲